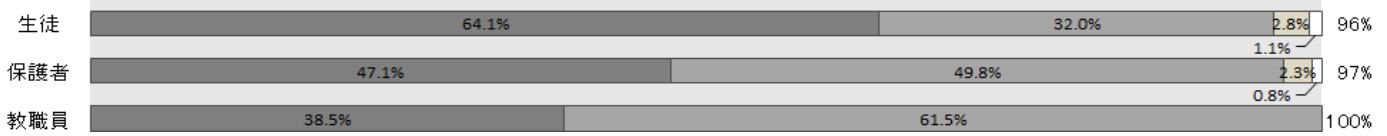


	深川中学校だより ~おとずれ~ 学園目標 未来を切り拓く人間性豊かな子どもの育成		令和2年度 2月号 長門市立深川中学校 校訓 勸学 チャレンジ目標 「 勸学 」 「 勸学 」
	地域でめざす子ども像 ★ふるさと長門を愛し、あいさつでつながる元気な子★自分の思いや考えを伝えられる素直な子		

「学校評価アンケート、御協力ありがとうございました！」

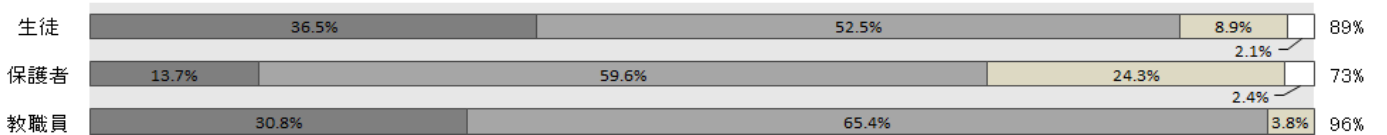
令和2年12月に、生徒299名、保護者276名、教職員26名、地域住民28名を対象に実施しました学校評価アンケート(後期)の結果を報告します。(肯定的回答:「そう思う」と「だいたいそう思う」)
 「学校が楽しい。」

本年度、新たに加えた質問項目であり、最も重要な項目であると認識しています。前期と比較すると、肯定的回答をした割合は、生徒96%、保護者97%と、どちらも4ポイント増加しました。一方、減少しているとはいえ、前期に引き続き、「そう思わない」と回答した生徒がいることが課題です。



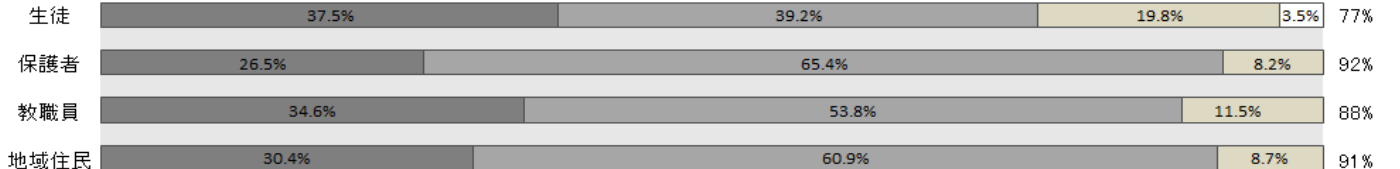
「授業内容がよく分かり、意欲的に取り組むことができる。」

肯定的回答をした生徒の割合は9割近いものの、前期と比較すると、ポイントが減少しています。一方、授業を実施、評価する立場である教職員の肯定的回答率は、昨年度後期より増加していることから、生徒や保護者が、このコロナ禍の臨時休業等で、学力に対し不安を抱いていることが推察できます。本年度は、2学期から「わかる実感を得るために必要な学習形態」と生徒自身が認識している「グループ学習」に積極的に取り組んでいるところです。グループ学習についての質問項目の評価結果からも、その成果が伺えます。引き続き、グループ学習の充実を図ることで、わかる実感を得ることにつながると考えます。



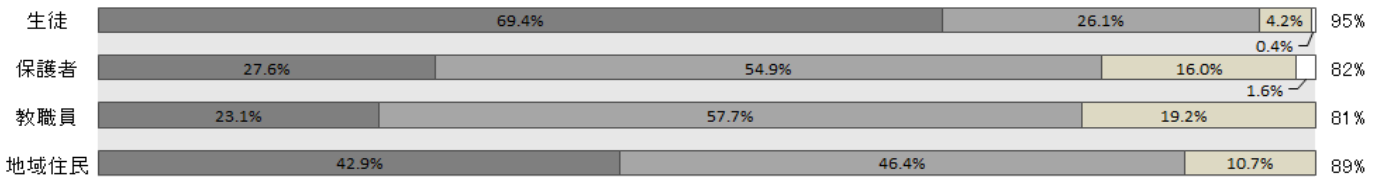
「学校全体でいじめゼロに向けて取り組んでおり、いじめや「うざい」などのNGワードが以前よりも減少していると思う。」

前期と比較すると、肯定的回答をした生徒及び保護者の割合が増加しています。特に、「そう思わない」と回答した生徒の割合が少しずつ減少していることが成果と捉えられます。しかしながら、他の項目と比較すると、生徒の肯定的回答率が77%にとどまっておリ、課題と受け止めています。今後も、開発的な生徒指導の推進に加え、生徒会を中心とした取組を行い、支持的風土の醸成を図っていきます。



「学校や地域で明るいあいさつをしている。」

前期と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合は2ポイント増加しており、校内において、あいさつが活性化していると実感できます。一方、地域住民の肯定的回答率は5ポイント減少しています。後期は、公民館の協力により、地域住民の方々からより多くの回答をいただくことができました。このことから、このたびの数値がより実態に即していると捉えられます。あいさつは、地域住民の方々にとって、最も生徒の様子が見えるものであるとともに、明るい地域づくりに貢献でき、「地域でめざす子ども像」にも挙げられていることから、引き続き、学校全体で力を入れて取り組んでいきます。



「学校は、生徒が安全な生活が送れるように、校舎内外の安全管理や登下校の安全指導に努めていると思う。」

前期と比較すると、肯定的回答をした生徒の割合は大幅に増加しています。朝の出迎えや帰りの見送りを始め、地域の方々からいただいたご意見にもスピード感をもって対応している成果だと捉えています。また、総下校時に学校周辺で交通指導をしている教職員の姿が印象も残っているのでしょう。また、「教職員の親切で丁寧な対応」に関する項目についても、保護者 98%、地域住民 100%の肯定的回答をいただいていることから、引き続き、その期待と信頼に応えていきたいと考えています。

生徒	66.5%	31.0%	2.1%	98%
			0.4%	
保護者	35.2%	60.2%	3.9%	95%
			0.8%	
教職員	57.7%	34.6%	7.7%	92%

「志を立ててもって万事の源となす」 立志式「学校長式辞」より抜粋

これは吉田松陰先生が26歳のときに従兄弟の元服のお祝いに贈った「士気七則」に出てくる言葉です。何事をするにも志を立てることから始まる、という意味です。

ただ今は、一人ひとりが、堂々と気持ちを込めて自分の志を宣言してくれました。大変立派でよかったと思っています。保護者の皆様方にとっても、お子様の成長を実感でき、感慨もひとしおのことと思います。

将来は「こんな職業に就きたい」「こんな生き方をしたい」「こんな大人になりたい」、表現の仕方は異なりますが、一生懸命自分で考え抜いて紡ぎ出したこの「志」は、これからの人生において生徒のみなさん自身が達成する目標であり、めざす自分の姿となるでしょう。

ところで、「志」とは何でしょうか、「夢」とどう違うのでしょうか。それが分かるこんなエピソードがあります。

みなさんは、「Boys, be ambitious! (少年よ、大志を抱け)」という言葉を知っているでしょうか。これは、明治時代の初期、ウィリアム・クラーク博士が札幌農学校を去るときに学生に向けて言った言葉としてとても有名です。若者たちよ、大志を抱け、大きな志をもちなさいと。

ところが、クラーク博士が本当に伝えたいのは、むしろ「少年よ大志を抱け」の言葉の後に続くところにあると言われています。それは、「少年よ大志を抱け。ただし金を求める大志であってはならない。己の利己心のみを望む大志であってはならない。名声という浮わついたつかの間のものを求める大志であってはならない。人間としてあるべき全てのもをを求める大志を抱きたまえ。」と続きます。つまり、「志」とは、単にお金や自分の名声のためではなく、世のため人のために力になりたい、貢献したいという、個人の「夢」を超えた、だれかの喜びにつながる使命感であり、そのために何を為すべきかを考え、目標に向かって行動することだということです。

今日ここに「立志の宣言」をしたということは、単なる自分の希望の表明ではないのです。それはまさに、未来の自分自身に向けた決意の表明なのです。

これからみなさんは「志」の実現に向けて、自らの「志」というフィルターを通して物事を見、本当に必要な情報を選別し、適切な判断をし、多くの人と関わり合いながら生きていってほしいと思います。

さあ、生徒のみなさん、今日からは、親にすがって甘えてばかりいるような幼い心は打ち捨てて、自立した人間になるために、自分の未来に向け、志の炎で暗闇を灯し続け、力強く歩んでください。

3月の主な行事予定

- 3/2 (火) 全校集会
学校運営協議会 (18:00~)
- 3/9 (火) 3年生は3時間授業
- 3/10 (水) 3年生を送る会
3年生は4時間授業
- 3/11 (木) 卒業証書授与式
1年生は家庭学習日
- 3/16 (火) 職員会議、部活動中止
- 3/23 (火) 仮入学
- 3/24 (水) 専門・中央委員会
- 3/25 (木) 学年末保護者懇談会
- 3/26 (金) 修了式
- 3/30 (火) 離任式 (10:30~)

家庭で「みす*さんの心」を育てる5つの実践

- 一. 挨拶をきちんとする
- 一. 「ありがとう」と「ごめんなさい」を言葉にして伝える
- 一. 相手の気持ちになって考える
- 一. 「みんな違ってみんないい」一人ひとりのよいところに目を向ける
- 一. 生きるものすべてに感謝し、いのちを大切にする

詳しい行事予定は深川中
HPに掲載中!

